

JIS

深井戸用水中モータポンプ

JIS B 8324 : 2024

(JSIM/JSA)

令和 6 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 41.10.1 改正：令和 6.3.21

官 報 掲 載 日：令和 6.3.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本産業機械工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-6821)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 大きさ	2
4.1 一般	2
4.2 ポンプの大きさ	2
4.3 電動機の大きさ	3
5 性能	3
5.1 規定吐出し量	3
5.2 全揚程	3
5.3 吸込性能	3
5.4 回転速度	4
5.5 ポンプ効率	4
5.6 性能試験受渡等級及び許容幅	4
6 構造	4
6.1 一般	4
6.2 ポンプ本体	4
6.3 羽根車	5
6.4 軸方向スラストの大きさ	5
6.5 軸継手	5
6.6 防砂装置	6
6.7 電動機	6
6.8 その他の部分	6
7 寸法及びはめあい	6
7.1 ポンプ本体	6
7.2 羽根車	8
7.3 ポンプ軸	8
7.4 各部のはめあい	8
7.5 羽根車とライナリングとの隙間	9
7.6 その他の部分	9
7.7 組立許容差	9
8 外観	10
9 材料	10
10 附属品	11
11 試験方法	12

	ページ
12 製品の呼び方	12
13 表示	13
14 提出書類	13
附属書 A（規定）深井戸用水中三相誘導電動機	15
附属書 B（参考）標準ポンプ性能図表	24
附属書 C（参考）ポンプの構造例	27
附属書 D（参考）電動機のポンプ取付部の寸法	30
解 説	33

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本産業機械工業会（JSIM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 8324:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

深井戸用水中モータポンプ

Submersible motor pumps for deep well

1 適用範囲

この規格は、井戸蓋又は取付バンドに取り付けた揚水管の下部につり下げ、50 Hz 又は 60 Hz の 2 極水中三相誘導電動機をポンプの下部に軸継手によって直結し、水温 10℃～25℃の清水を取り扱うポンプ本体の弁ケーシングの吐出し口の呼び径（以下、ポンプの呼び径という。）が 25 mm～200 mm で、そのポンプのストレーナから井戸の最高水位までの最大潜没深さが 100 m 以下の片吸込遠心形又は斜流形の深井戸用水中モータポンプ（以下、ポンプという。）について規定する。

清水であっても、含有砂量が多いと、ポンプの滑り部の摩耗によって、電動機に事故を起こすことがあるから、含有砂量は、できるだけ少ないことが望ましい。なお、この規格で取り扱う清水は、pH 5.8～pH 8.6、及び塩素イオン 200 mg/l 以下で、砂を含む場合でも、含有砂量は 50 mg/l 以下で、その大きさは、細砂（0.1 mm～0.25 mm）以下とする。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0131 ターボポンプ用語

JIS B 0202 管用平行ねじ

JIS B 0203 管用テーパねじ

JIS B 0401-2 製品の幾何特性仕様（GPS）－長さに関わるサイズ公差の ISO コード方式－第 2 部：穴及び軸の許容差並びに基本サイズ公差クラスの表

JIS B 0905 回転機械－剛性ロータの釣合い良さ

JIS B 1301 キー及びキー溝

JIS B 2220 鋼製管フランジ

JIS B 2239 鋳鉄製管フランジ

JIS B 8301 遠心ポンプ、斜流ポンプ及び軸流ポンプ－試験方法

JIS C 3312 600 V ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル

JIS C 3327 600 V ゴムキャブタイヤケーブル

JIS C 4034-1 回転電気機械－第 1 部：定格及び特性

JIS C 4210 一般用低圧三相かご形誘導電動機

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材